

ARTE Y SOLERA

鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団

愛こそすべて

～完全版～



舞台写真：川島浩之

2012年
 12月8日[土] 14:00開演 (13:30開場)
 8日[土] 18:00開演 (17:30開場)
 9日[日] 14:00開演 (13:30開場)

ル テアトル銀座
 by PARCO

主催・企画制作・招聘：ARTE Y SOLERA
 後援：スペイン大使館／セルバンテス文化センター東京／日本フラメンコ協会／社団法人現代舞踊協会
 助成：文化芸術振興費補助金（トップレベルの舞台芸術創造事業）
 制作協力：f Square



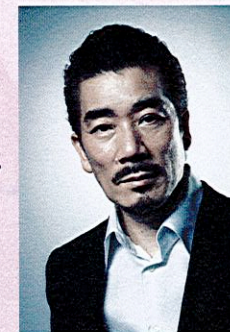
文化芸術振興費補助金
 (トップレベルの舞台芸術創造事業)

阿木燿子



フラメンコの魅力のひとつに“小粋さ”というのがあると思う。
 そのためには女性の踊り手は婀娜^{あだ}っぽく、男性は鯨背^{いなきせ}であって欲しい。
 この婀娜っぽさと鯨背は並みの踊り手には出せない。
 確かな技術と豊かな表現力は言うに及ばず、踊ることを、
 人生を心の底から楽しむ者のみが得られるチャームだからだ。
 「愛こそすべて」はまさにこれを体現している。
 スペイン歌謡をバックに、レビューのような華やかなステージは、
 観客の心を魅了して止まない。婀娜っぽく鯨背な踊り手達に拍手を！
 鍵田真由美、佐藤浩希はまたまたフラメンコの新しい扉を開いた。

宇崎竜童



ヒロ君は、振付の天才だ！
 マミちゃんは踊りの天才だ！
 どんなメロディー、どんなリズムを投げつけても、
 ヒロ君は想像を遥かに超える振付で打ち返してくる。
 マミちゃんは、あのしなやかな肉体を黒髪^{くろかみ}の先まで爪先^{つまさき}まで使い
 全身で熱く時に軽やかに、時に力強く表現する。
 此の二人が共斗すれば、1+1=2ではなく2乗3乗になる。
 天才たちにこそ、与えられた才能表現が此処に在る。
 更に舞踊団のメンバーが加われば、
 独特の『アルテイソレラの世界』に引き込まれ、
 別天地に連れ去られてしまう。
 彼等の踊りっ振りは『フラメンコ曾根崎心中』で数多く観てきたが、
 本来、彼等が追究してきた“フラメンコ・ダンス”の
 アルテイソレラを目撃して仕舞ったときに受ける印象は、私の知っている彼らではなく、
 才能ある別人なのだから奥が深い。
 『ウ〜ム、流石!!』と唸らされる。
 メシより踊りが大好きな…… いや、メシも酒も踊りと同じに大好きな彼等。
 本気で喰って、本気で踊って本気で呑む。
 今時、これだけ本気だらけの人達も珍しい。
 『ウ〜ム、参った!』と唸らされる。
 膝を打つ、涙が出る、そして感動する！
 アルテイソレラ！ 萬歳、萬歳、萬歳！！

この『愛こそすべて』、結論から云うと、彼らのあの名作
 『FLAMENCO 曾根崎心中』と同じくらい良かった。つまり、もの凄〜良かった！
 フラメンコを知らないアート好きな友人を誘う折には、パコ・デ・ルシアや
 マリア・パヘスの公演を選択する私だが、このフラメンコ・レビューは
 そうしたゾーンに参入できる親近感と上質感の両方を備えていた。(中略)
 スタイルッシュに構成されたアンコール含む約80分の至福。(中略)
 レビュー本来の喜びを充たしながら、アート本来の任務を遂行してゆく
 佐藤浩希の構成・演出・振付に拍手。

小山雄二 (パセオフラメンコ編集長) 月刊パセオフラメンコ2011年12月号「公演忘備録」より抜粋

「愛こそすべて」公演情報

2012年
12月8日[土] 14:00開演 (13:30開場)
8日[土] 18:00開演 (17:30開場)
9日[日] 14:00開演 (13:30開場)

全席指定 SS ¥9,000 / S ¥7,000 / A ¥5,000
 ボックスシート(2名) ¥17,000 (消費税込)

チケット発売日 2012年9月8日[土]
 ※未就学のお子様はご入場できません。ご了承ください。

チケットのお問合せ・ご予約

チケットスペース **03-3234-9999**

チケット取扱い

チケットスペース **03-3234-9999**
 (オペレーター対応 月〜土10:00-12:00, 13:00-18:00 / 日・祝休)
 「チケットスペースオンライン」 (PCのみ)

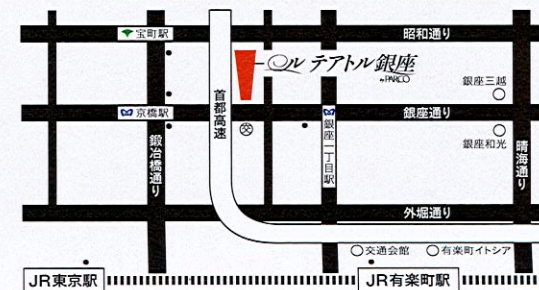
チケットぴあ **0570-02-9999** (Pコード: 422-811)
<http://pia.jp/t/>

ローソンチケット **0570-084-003** (Lコード: 36757)
0570-000-407 (オペレーター対応 10:00-20:00)
<http://l-tike.com/>

イープラス <http://eplus.jp/>

会場：ル テアトル 銀座 by PARCO

東京都中央区銀座1-11-2 Tel: 03-3535-5151 (代表)



- ・東京メトロ銀座線「京橋駅」から徒歩1分、「銀座駅」から徒歩5分
- ・東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」から徒歩1分
- ・都営地下鉄浅草線「宝町駅」から徒歩5分
- ・JR「有楽町駅」京橋口より徒歩8分、「東京駅」八重洲南口より徒歩10分

儂くも美しく鍵田真由美が舞う！ 佐藤浩希の演出・振付が魅せる！ スタイリッシュな群舞が圧倒する！

愛の世界を綴った舞台の「完全版」が幕を開ける！

『愛こそすべて』——それは激しく切ない愛の世界を
スペイン生まれの美しいヒット「歌謡」曲の数々にのせて踊る
華やかで心揺さぶるフラメンコの舞台。

観客が総立ちになるほど好評を博した昨年秋の公演から1年。

今回は、さらに磨きをかけ深化させた“完全版”の上演です。

しばし現実を忘れ、めくるめく愛の世界に浸ってください。

フラメンコが好きの方はもちろん、今まで馴染みが
なかった方にも、心から楽しんでいただける
贅沢なひとときになるでしょう。

豪華絢爛 &
アーティスティックな
フラメンコの世界。

✧ 華麗なる演出

レビューさながらの煌びやかな場面から、映画の切ないワンシーンを思わせる男と女の物語まで。万華鏡のようにうつりゆく世界はまるで豪華客船でショーを見ているような気分へ誘い、日差しや風まで感じさせる照明や美術の美しさは、さまざまな愛の形を浮かび上がらせてくれます。

✧ 魅惑の音楽

挑発的な告白、青春時代の恋、開き直りの失恋ルンバ、聖母マリアへの想い、叶わぬ恋の痛み。フラメンコ、ポピュラー、ポップスなど幅広いジャンルから選りすぐられたスペイン生まれの愛の歌。言葉を越えた情熱的な旋律に思う存分身をゆだねてください。

✧ 一流のミュージシャンたち

音楽に、より深みを与えるのはフラメンコにルーツを持つ一流のミュージシャンたち。往年のスペイン歌謡を、マレーナ・イーホ、斎藤誠とともに洗練されたアレンジで蘇らせた天才、ホセ・ガルベス。ホアキン・コルテスとも共演していた、大地の母のようなアナ・デ・ロス・レジェス。妖しくスタイリッシュな魅力で人々を虜にしようフェルナンド・ソト。また「オルケスタ・デ・ラ・ルス」の創始者でもある国際的なパーカッショニスト、大儀見元の奏でるリズムも絶品！

✧ 魂を揺さぶる踊り手たち

この公演に欠かせないのは、踊りの力、フラメンコの力。体で心のすべてを伝えきる鍵田真由美、観る人の心まで躍らせてしまう佐藤浩希、そして群舞の美しさを誇る舞踊団とともに、さまざまな愛を余すところなく表現していきます。フラメンコの真髄に触れたものだけが許された魂を謳う華麗なる舞台を、ぜひお楽しみください。

鍵田真由美

佐藤浩希

柴崎沙里

木木三四郎

柏麻美子

東陽子

工藤朋子

小西みと

矢野吉峰
(客演)

板倉匠
(客演)

権弓美
(客演)

カンテ(歌)・ギター
ホセ・ガルベス

カンテ(歌)
アナ・デ・ロス・レジェス

カンテ(歌)
フェルナンド・ソト

関祐三子

ギター
マレーナ・イーホ

ギター
斎藤誠

パーカッション
大儀見元

鈴木百々子

アルティソレラ
ARTE Y SOLERA

鍵田真由美・佐藤浩希フラメンコ舞踊団

1998年結成。鍵田真由美、佐藤浩希を中心とし、鍛え抜かれた肉体と表現力、そしてフラメンコ舞踊ならではのテクニックと身体性を併せ持つ実力派集団。群舞に求められる統制美を実現しながらも一人一人の個性が光る。2001年より再演を重ねる「FLAMENCO 曾根崎心中」文化庁芸術祭優秀賞受賞、2004年「ARTE Y SOLERA 歓喜」文化庁芸術祭大賞受賞、及び同作品はスペインのヘレス、ビジャマルタ公演でも絶賛され、国内だけでなく国外での評価も高い。2008年より続いている小空間ライブ desnudo シリーズをはじめとし、毎年新しい作品を発表しながらも、NHK大河ドラマ「平清盛」のオープニング映像の出演(鍵田真由美等)・振付(佐藤浩希)や2012年「NHKニューイヤーパーフォーマンス」内「カルメン」のシーンへの振付(佐藤浩希)などTVやイベントと活躍の場は幅広い。ARTE Y SOLERAは、フラメンコの精神性を兼ね備えつつ、既成概念にとらわれない自由な発想で精力的な活動を繰り返している。

www.artey-solera.com

twitter アルティソレラ @ARTE_Y_SOLERA

編曲：ホセ・ガルベス 美術：前田剛 照明：北内隆志(パシフィックアートセンター)

衣裳：芦川三枝子(チャコット)/山本れん子/松田繁人(マツダドレス)

音響：鳥光浩樹 舞台監督：井関景太(ろうと工房)

舞台写真：川島浩之
宣伝デザイン：富岡史樹(ふみ特)